

「第13回(2011年度)高エネルギー物理学奨励賞(2012年物理学会賞)推薦及び
応募のお知らせ」

添付の要綱に基づき、下記の要領で

「第13回 高エネルギー物理学奨励賞(2012年物理学会賞)」
の対象候補者と論文の推薦及び応募の受け付けを行います。

- 記 -

1. 推薦・応募締切

2011年 6月30日

2. 対象者及び論文

2008年 4月 1日より2011年 5月31日の間に公表された
論文(要綱 脚注参照のこと)で公表時の対象者の年齢が35才以下で
あること。

3. 推薦・応募手続き

添付の 推薦・応募用紙に必要事項を記入し、対象論文の別刷りまた
はコピー、推薦状(推薦の場合)、論文要旨(日本語100~200
字程度)それぞれ7部(ページ数が多い場合はファイル・製本のこと)
とともに下記に送付・提出のこと。

4. 提出先

〒192-0397

東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京 大学院理工学研究科物理学専攻

高エネルギー物理学研究者会議事務局 代表 汲田 哲郎

5. 発表

2011年9月末頃、HECFORUMにて発表

[1998年10月 4日 総会にて議決]

[1999年 3月29日 同好会名称変更]

[2010年9月12日 主旨の制定]

高エネルギー物理学奨励賞 要綱

高エネルギー物理学を担う優秀な若手研究者の研究を奨励するために本賞を設け、その研究者の優れた業績に対し本賞を授与する。

1. 対象分野は素粒子実験、但し実験に極めて重要な影響を与える近隣分野を含む。
2. 1年に一回の選考で各回2名まで。対象は過去3年間に発表された論文。
3. 公表時(脚注) 35才以下の若手による論文を対象とする。但し、学位論文を重視する。共同実験に基づく論文では、対象者の寄与が本質的である事。
4. 対象は、高エネルギー物理学研究者会議会員の推薦または応募とする。
5. 選考委員は、高エネルギー委員会で選出し、高エネルギー関係者3名、理論関係者、宇宙線関係者、加速器関係者 各1名とする。
6. 締め切りは6月末、選考は7月～9月の間に行い、9月末(秋の学会前ごろまで)に発表する。高エネルギー物理学研究者会議総会で授与式を行い、学会で特別講演を依頼する。
7. 賞金 1件10万円を高エネルギー物理学研究者会議経費より支出する。

(脚注) 博士論文は正式審査を通過した時点、他の論文は雑誌に掲載もしくはプレプリントが発行された時点とする。

高エネルギー物理学奨励賞 推薦／応募 用紙

対象者 氏名 _____

所属 _____

(発表時と現在の所属が変わっている場合はその点も
明記すること)

生年月日 _____

対象論文 題名 _____

種類 博士論文(授与機関等 _____)・プレプリント

・雑誌 _____

公表日 _____

(博士論文の場合は正式審査を通過した時点)

対象者の寄与(できるだけ明確に書く)